

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2021年(令和3年)

8月13日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

山梨県農業振興公社の就農希望者向け研修 指導者・大河内さん活躍



研修について話し合う大河内さん(右)と林さん

コミュニケーション大切に

【山梨】(公財)山梨県農業振興公社では、県やJA

中央会、農業会議などと連携して、県内での就農希望者に対し、先進農家における技術習得や経営管理、地域とのつながりなどを実地研修する「やまなしあぐり

ゼミナール」に取り組んでいる。

山梨市でブドウを栽培している大河内真吾さん(59)は、やまなしあぐりゼミナール研修の指導者「アグリマスター」として活動。大河内さんは、これまでに研

修生13人を指導しており、指導で大切なことは「コミュニケーション」を取ること」と話す。不明な点はすぐに質問するよう研修生に伝え、大河内さん自身も積極的に話しかけ、質問しやすい雰囲気を作っている。

研修生に寄り添う指導方針や人柄もあって、研修が終了し、独立した農業者から今でもアドバイスを求められている。大河内さんは「自分の夢を持って諦めず、にまっすぐ進んでほしい。失敗や苦しいこともあると思うが、そういうときこそ夢を思い出して、踏ん張ってほしい」と話す。

現在研修中の林優弥さん(25)は「技術を磨き、新しい品種も積極的に取り入れ、将来は大河内さんと同様に地域を代表するような農家になりたい」と意気込みを語った。